

I肺がん51

対象疾患	小細胞肺がん	レジメン名	Durva+CDDP+ETP療法 (Durva+PE療法)		
1コースの期間 (休薬期間含む)		21日			
総コース数	4コース				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食100 mL (ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1~3
2	生食1000 mL	1 P	点滴静注	3時間	day 1
3	アプレピタント125 mg (day 1)、 80 mg (day 2~3) ※ホスネツピタント未使用の場合	1 Cap	経口		day 1 (125 mg)、day 2~3 (80 mg)
4	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1~3
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			day 1
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			
	ホスネツピタント235 mg ※アプレピタント未使用の場合	1 V			
5	生食50 mL (フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
6	デュルバルマブ (Durva)	1500 mg/body	点滴静注	60分	day 1
	生食250 mL	1 P			
7	生食50 mL (フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
8	エトポシド (ETP)	100 mg/m ²	点滴静注	2時間	day 1~3
	生食500 mL	1 P			
9	シスプラチン (CDDP)	80 mg/m ²	点滴静注	2時間	day 1
	生食500 mL	1 P			
10	20%マンニトール 300 mL	0.66 P	点滴静注	30分	day 1
11	フロセミド20mg	1 A	静注		day 1
12	生食1000 mL	1 P	点滴静注	6時間	day 1~3
	生食500 mL	1 P			
血管外漏出 リスク分類	Durva: 非炎症性 ETP: 炎症性 CDDP: 炎症性				
催吐性リスク分類	レジメン全体: 高度 (Durva: 最小度 ETP: 軽度 CDDP: 高度)				
インラインフィルター の要不要	本レジメンのday 1については、インラインフィルターを使用してはならないETPとインラインフィルターが必要なDruvaが混在しているためルートに注意が必要である。当院では、Rp.1~2、8~12はインラインフィルターなしのルートで投与し、Rp.4~7は0.2又は0.22 μmのインラインフィルター (ポリエーテルスルホン製) を通して投与することとしている。 また、day 2~3は、抗がん剤はETPのみとなるため、インラインフィルターを使用しないルートを用いて全Rp.投与する。				
備考欄	※Short hydration法もレジメンオーダーに登録あり。 ※NK ₁ 受容体拮抗薬は、ホスネツピタント235 mg/dayをday 1またはアプレピタント125 mg/day (day 1、抗がん剤投与開始1時間~1時間30分前)、80 mg/day (day 2~3、午前中) のいずれかを投与する。 ※Durvaの投与量は体重30 kg以下の場合は、20 mg/kgである。 ※CDDP総投与量500 mg/m ² を超える場合は蓄積性の神経毒性注意。				